

新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

宮城県蔵王自然の家 R5年度4月改訂 R5年度5月8日より適用

入所前に行っていたこと	【入所前】5日前から利用者の健康状態を確認する。
-------------	--------------------------

①利用日5日前からの健康観察の結果

- ・37度5分以上の発熱や平熱比+1度以上の発熱がある場合
- ・息苦しさ(呼吸困難), 強いだるさ, 腹痛, 吐き気, 咳, 咽頭痛, 味覚, 嗅覚の異常等の症状がある場合
- ・その他体調が優れない場合

→ 受診結果によっては、本所の利用を控えてください。

②同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合

感染防止のための準備物	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液, 手洗いハンドソープ, 体温計等 →自然の家でも準備しますが, 数に限りがあるため, 持参してください。 ・各部屋で出たごみをまとめて捨てるためのごみ袋
	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・うがい用のコップや手洗い後のハンカチ, ティッシュ等 ・枕カバーの上に使用するタオル
※その他, 団体独自に感染防止に必要と考えるものがあればご準備ください。		

主な所内活動時の感染防止策

- 手指消毒, 咳エチケットの指導, 手洗い・うがいの徹底をお願いします。
- 定期的に体温測定等, 参加者の健康チェックをお願いします。
- 入所後, 参加者に発熱等の症状が出た場合はすぐに事務室にご連絡をいただき, 受診をお願いいたします。
- 第2保健室として, 夏期は講師室, 冬期は112号室に設置します。体調不良者が出た際には, 所員へ連絡し, ご利用ください。
- 所内および利用宿泊室等の定期的な換気にご協力ください。
- ご用がある場合は, 事務室へ入室せず, 受付からお声掛けください。
- 所員の毎日の体温測定, 健康チェックを行います。

主な所内活動		感染防止策・その他
入所時	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が中央ホールや荷物置き場で密にならないよう誘導する。 ・宿泊室の消毒(ドアやベッド等触れる部分を中心に)を行う。 ・入所時に玄関前で体温を測定する。 →37度5分以上の場合は, 入所を控えてもらうようにする。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所時に中央ホール入口感知モニターにて検温を行う。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒や体温測定を実施し, 利用者の健康状態を確認する。 ・割り当てられた宿泊室の中で, それぞれ救護室(保健室)を設置する。 ・各部屋のごみ箱は袋をかけて使用する。→最後にまとめて密封してトイレのポリバケツへ
つどい (であい・朝・夕・わかれ)	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイク等, 共用する物は使用後に消毒を行う。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体同士であらかじめ連絡調整をしたうえで, 合同でのつどいを行うことは可とする。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲との距離を確保する。

主な所内活動	感染防止策・その他	
<p>食堂での食事(朝・昼・夕)</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理はご飯を含めて全て個々に盛りつけたものを提供する。 ・団体数が多い場合、食事を2回に分け、入れ替えて設定する。 ・足元に順番待ちの間隔を表示する。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席に余裕がある場合は、間隔をあけたり対面をさけたりして着席しても構わない。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の前に、食堂入口または宿舎洗面所にて手洗いをしっかりと行ってくる。 ・食事後、台ふきんでテーブルを拭く。 ・児童生徒がご飯のおかわりをする場合は、学校の先生や団体の大人が対応する。
<p>手洗い場(トイレ)の使用</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い場を定期的に消毒、換気する。※換気扇は常時オンで ・トイレの蓋を閉めて水を流すよう各個室に表示する。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持参したコップを使用する。 ・トイレの蓋を閉めて水を流すように指導する。 ・石けんを使った手洗い、うがいを徹底する。
<p>入浴</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱衣所、浴室での対人距離の確保を求める。 ・定期的な換気を徹底する。 ・できる限り入浴時間を長めに確保し、感染防止に努めてもらう。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体入れ替えをスムーズに行い、密集を防ぐ。
<p>宿泊室での過ごし方</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な宿泊室の消毒を行う。 ・扇風機を各部屋に設置し、換気等に活用する。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーツ2枚と枕カバーを確実に使用する。 ・持参の枕カバー(タオル等)を備え付けの枕カバーの上に使用する。 ・使用しないベッドやふとんにはふれないようにする。 ・部屋の換気をこまめに行う。
<p>入所時、活動責任者等の打合せ</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用するテーブル、椅子の定期的な消毒を行う。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、手指消毒を行う。
<p>料金支払い</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・距離を保てるような場の設定を行う。 ・会計中は窓を開放し、常時換気を行う。 ・おつりの授受が発生しないように支払料金の準備を求める。 ・会計室入口に消毒液を設置する。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計室への入室前に手指消毒を行う。 ・可能な限りおつりの授受が発生しないように支払料金を準備する。
<p>退所時</p>	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の退所時に、中央ホール等が密にならないよう誘導する。 	<p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド使用者記名カードを事務室に提出する。(様式はHPからダウンロード可)

◎退所後、感染等が明らかになった場合は速やかに自然の家へご連絡ください。

各プログラムにおける感染リスクと防止策について

主な野外活動時の感染防止策	<ul style="list-style-type: none"> ○活動前後における利用者, 利用団体の健康状態の把握 ○感染リスクの考慮・自己防衛策の徹底 ○密集・密接を避けるための距離の確保 ○活動場所の換気 ○利用者へ各活動の前後に手洗いうがい, 手指消毒を求める
----------------------	--

活動プログラムと主な感染リスク	感染防止策・その他
<p>登山・ハイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山口への移動手段（バス等） ・会話や息が上がることによる飛沫感染 ・排泄物による感染 →どこで誰が排泄しているか分からない 	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・登山ボランティアへの防止策の説明, 感染リスク等の同意が必要。 <p>※現在のところ, えぼしスキー場のゴンドラ運行の予定は未定です。 <u>詳細が分かり次第ホームページでお知らせします。</u></p> <p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時, 昼食時は周りとの距離を確保する。 ・食べ物の受け渡しはしない（回し飲み, 回し食いの禁止）。 ・外での排泄後, 手指消毒の徹底 ・手袋（軍手）の着用
<p>沢遊び・沢登り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や息が上がることによる飛沫感染 ・休憩時, 昼食時等の密集及び食べ物の受け渡し ・排泄物による感染 	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 <p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外での排泄後, 手指消毒の徹底 ・休憩時, 昼食時は周りとの間隔を空ける。 ・食べ物の受け渡しはしない（回し飲み, 回し食いの禁止）。 ・ヘルメット, ライフジャケットは使用后十分に洗浄して返却する。
<p>野外ゲーム (スコアオリエンテーリング, 冒険ゲーム, グリーンアドベンチャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や息が上がることによる飛沫感染 ・筆記用具やファイル等の共有による感染 ・休憩時等の密集による感染 	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 <p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具等の担当を固定する。 ・自然の家からゲームの用具の貸し出しはできるが, 可能な限り団体で準備することが望ましい。 ・グループ活動が主となるため, 事前指導が重要となる。

活動プログラムと主な感染リスク	感染防止策・その他
<p>野外炊飯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理, その他活動全般における飛沫感染 ・食べ物及び用具を介しての接触感染 	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・職員の説明は最小限とし, 利用団体に事前指導を求める。 ・メニューの工夫 (非加熱食品のリスク軽減) →果物をカット不要のデザートにする。 <p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手袋 (軍手) 着用, うがい手洗い (石けん準備は団体で) ・活動時における周囲の人との間隔の確保 ・個人用手拭きはふきんでもよいが, 調理器具や配膳で使う器具を拭くためのペーパータオルを準備する。 ・必要に応じて食器・スプーンは使い捨ての物を用意する。 <p>○野外炊飯場の密を避ける間隔を確保するための場の設定 (※150人を超える場合は野外炊飯場とキャンプセンターに分かれる等)</p> <p>[調理中]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまど→可能な限り一つおきになるようにする。 ・調理, 食器盛り付け→隣のグループとの間隔を空け, 包丁仕事は対面にならないようにする。 →調理前, 配膳前と食事前の手洗いを徹底する。 ・食事会場の分散→雨天食事場等を活用 <p>[食事中]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒がおかわりをする場合は, 学校の先生や団体の大人が対応する。 <p>[片付け]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りとの距離を確保する。 ・使用済みの使い捨ての食器や箸, スプーンは, 直接ごみ袋へ。 ・使用したテーブルを台ふきんで拭く。
<p>ポリ袋クッキング (防災体験プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理, その他活動全般における飛沫感染 ・食べ物及び用具を介しての接触感染 	<p><自然の家の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 <p><利用団体の防止策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手袋 (軍手) 着用, うがい手洗い (石けん準備は団体で) ・活動時における周囲の人との間隔を確保する。 ・必要に応じて食器・スプーンは使い捨ての物を用意する。 <p>○野外炊飯場の密を避ける間隔を確保するための場の設定</p> <p>[調理中]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自, ポリ袋に色つきのクリップをつけ, 自分の色を覚えさせる。 ・材料→列 (1m以上の間隔) でポリ袋を持って並ばせ, 担当者が1人ずつ配布する。 米 (パスタ), その他具材, それぞれに担当を設定する。具材は1人分を紙コップ等に配分しておく。時間に余裕を持って受け渡す。 ・鍋でのボイルは, できたものを色で知らせる。 <p>[片付け]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い捨ての食器や箸, スプーンは, 直接ごみ袋へ。 ・使用したテーブルを台ふきんで拭く。

活動プログラムと主な感染リスク		感染防止策・その他
ニジマスつかみ ・調理その他活動全般における飛沫感染 ・食べ物及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・説明時の密を避ける場の設定 →大人数の場合は説明を広場等別の場所で行うことも可能。 ・魚をさばく時の間隔の確保 →小刀、バケツを団体に貸し出し、広く間隔をとって活動してもらう。 ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・活動時における周囲の人との間隔の確保 ・回し食いの禁止 ・魚をさばく時の間隔の確保→広く間隔をとり、密にならないように活動する。 ・焼けたニジマスを渡す担当は軍手を着用する。
出前講座 ・会話による飛沫感染及び施設や用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・密を避けるための場の設定と、進め方の検討	<利用団体の防止策> ・会場について事前の打合せや準備を綿密に行う。 ・密を避けるため、他者との間隔を十分に確保する。 ・道具及び食材の衛生管理
各施設見学・体験 (ことりはうす, こけし館, ハートランド) ・会話による飛沫感染及び施設や用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・各施設との連携, 情報交換 ・自然の家への再入所時のうがい, 手洗い, 手指消毒の徹底	<利用団体の防止策> ・基本的には, 見学, 体験する施設の方策に準ずる。 ・各施設との連絡を密にする。 ・密を避けるため, 他との間隔を十分に確保する。
試胆会・ナイトハイキング ・会話や息が上がること, 他との接触による飛沫感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・懐中電灯の共有を避ける。
キャンプファイヤー ・会話や息が上がること, 他との接触による飛沫感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・マイク等, 共用する物は使用後に消毒を行う。 ・衣装は定期的に洗濯を行う。	<利用団体の防止策> ・隣同士の間隔を十分に確保して行う。
キャンドルファイヤー ・会話や息が上がること, 他との接触による飛沫感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・マイク等, 共用する物は使用後に消毒を行う。 ・衣装は定期的に洗濯を行う。	<利用団体の防止策> ・キャンドルの準備は担当を決め, 手袋を着用し, 行う。 ・隣同士の間隔を十分に確保して行う。
MAP活動 ・会話や息が上がること, 他との接触による飛沫感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・実技は接触機会が多いので, ねらいや実態に即しながら, 工夫して活動する。

活動プログラムと主な感染リスク		感染防止策・その他
館内探検ゲーム ・会話や息が上がること、他との接触による飛沫感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・複数団体が同時刻で行う場合は、密になる可能性があるため、打合せて調整する。 ・活動時における周囲の人との間隔の確保
創作活動 (こけしの絵付け, 焼き杉, 壁掛け, 和ごま, マイスプーン・マイフォーク) ・会話による飛沫感染及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・密にならないようにグループの人数を制限する。 ・屋外での活動を推奨する。 →屋外の常設テーブルを活用する。屋内活動時は換気を徹底する。 ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・焼き杉は、板を焼く活動で密になる可能性が高い。特に雨天時の活動としては密になりやすく、勧めない。	<利用団体の防止策> ・彩色については、学校に戻ってマジックペン等で行うことも可能。 ・彩色用の道具(マジック, 絵の具等)を持参して活動することも可能。 ・壁掛け, 和ごまについてはマジックペンも使用可能。 ・複数学級や, 人数が多い場合, 他活動との同時進行も考える。
自然観察 ・会話による飛沫感染及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・密を避けるため, 他との間隔を十分に確保する。
運動 (グラウンドゴルフ, 卓球, バドミントン, 綱引き, 長縄等) ・会話, 息が上がることによる飛沫感染及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・個人の種目については, 道具, 手指の消毒, 他者との距離を確保して行う。
アルペンスキー ・会話, 息が上がることによる飛沫感染及び用具を介しての感染 ・スキー場への移動手段(バス等) ・スキー場での Gondola, 食堂利用	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・えぼしスキー場の防止対策を共有する。 ・スキー講師へ防止策を説明し, 共通理解を図る。	<利用団体の防止策> ・手袋の着用 ・食事や休憩時, Gondola乗車時は, 周りとの距離を確保する。
歩くスキー・スノートレッキング ・会話, 息が上がることによる飛沫感染及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。 ・スキー講師へ防止策を説明し, 共通理解を図る。	<利用団体の防止策> ・手袋の着用 ・休憩時, 昼食時は周りとの距離を確保する。
雪遊び (そりすべり, 雪像作り, スノーキャンドル) ・会話, 息が上がることによる飛沫感染及び用具を介しての感染	<自然の家の防止策> ・引率者へ活動時の約束をあらかじめ周知する。	<利用団体の防止策> ・手袋の着用 ・休憩時, 昼食時は周りとの距離を確保する。